

学園祭 輝いた2日間

9月18日(金) 開祭式・文化部門, 19日(土) 体育部門・閉祭式の両日も好天に恵まれて予定通り実施することができました。本年度の学園祭が今後の基本的な形になるかどうかはわかりませんが, 数々の制限を受ける中でも確かな活動を展開することができました。保護者・地域の方々に実際に観ていただくことはできませんでしたが, 親子愛校作業での活動を頂いたからこそ中庭での文化部門, 校庭での体育部門をすばらしい雰囲気の中で行えたように, 改めて皆様に支えていただいていることを実感しております。今まで通りの学校生活に戻ることはなくても, 新しい上条中学校の文化の輝きを創造できるよう, 今後も生徒, 職員で取り組みたいと思います。これからも上条中学校へのご理解とご協力をお願いいたします。

上条中学校 校長 茅野賢一

学園祭の様子

開祭式は中庭で行いました。生徒会本部役員が前日ペンキで目印した場所で行います。天気は薄曇りで絶好です。当日全校生徒が位置につくと生徒玄関をステージにした野外会場が見事に出来上がりました。開祭式での本部役員の進行劇はスローガン「輝創」を楽しませながら強く意識させる仕上がりでした。続いて吹奏楽の発表です。コンクールも中止となり本年度唯一の発表の場でした。特に3年生のこのステージにかける思いは強く感じられる演奏でした。終了とともに応援団が入場して, 例年以上に気合の入った応援を披露しました。今年度初めて全校が一堂に会して校歌を歌った場面です。



その後の時間は展示見学と学年発表の鑑賞です。美術部
家政部はコロナ禍を意識して工夫を凝らして制作をして
いました。学年展示・学級展示・全校制作，各学年の
体育館での発表，どれもが手作り感満載であるとともに，
例年より準備期間での取り組みにきめの細かさがあり，そ
れに伴う質の高さを感じました。



体育部門のはじまりは，ブロック長による選手宣誓から
でした。全校が一旦3つのブロックに分かれて競い合
います。学年別対抗全員リレー，台風の目，綱引き，代表
リレーと熱のこもった競技が続きました。そして，最終
競技に「挑戦 2020」があります。上条伝統の「挑戦」
の形を変え「高玉入れ」と「八の字跳び」を組み合わせ
て行われました。勝負は高玉入れの得点が大きく影響し
ました。また，八の字跳びにはそれぞれの学級の人をつ
ながりが表れており，感動的な場面が見られました。
そして，閉祭式です。再びの進行劇からのサプライズダン
スが披露され，その見事さに全校の目が奪われました。
閉祭宣言はテープ花火で彩られ，2日間の麗条祭が終
りました。

校内に残る装飾，レタリングで丁寧に仕上げた多くの
ポスターからは，それぞれに工夫が感じられるとともに
取り組み方の質の良さを感じます。また，上条中マス
コット「あららぎ君(アッキー)」「いちい さん(イチー)」
には，新たな伝統誕生を感じます。

